みどりの東北

Midori no Tohoku

No.256
令和7年 2025. 7
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

特集コーナー …… 1
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 2
地域発NEWS …… 3～6
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 7～8
地域のこの人 …… 9
イベント情報 …… 10
新任者略歴紹介・退任者挨拶



猿ヶ森ヒバ埋没林（青森県下北郡東通村）
〔提供：下北森林管理署〕

今月のTopics

●第44回　森林の市

５月31日、「森林の市」が当局にて開催されました。（研独）森林整備センターをはじめ県内外の森林組合や林業関連企業などが出展し、山菜や木工製品の販売のほか、各種体験コーナーなど計17のブースを設けました。当局からは、森林づくりについて学べるカードゲーム「ZORING」や木工体験などを行い、木のぬくもりに触れ楽しんでもらいました。

●風の松原を守る市民ボランティア大会

能代市の風の松原において、松くい虫被害を防ぎ、景観維持を目指す市民ボランティア大会が、６月１日市内の企業や団体、高校などから約160名が参加し開催されました。穏やかな天候にも恵まれて、８トンほどの枯れ枝を回収し、松原保全の誓いを新たにしました。



●春の動物ふれあいフェスティバル（大森山動物園）

６月１日、秋田市の大森山動物園において、園内を動物たちが行進する「どうぶつパレード」や、当局とのコラボイベント「ニホンイヌワシを通して森と生物多様性について考えよう」が開催され、多くの家族連れなどで賑わいました。この取組の詳細は、Ｐ１をご覧ください。

●令和６年度森林・林業白書を公表

６月３日、「令和６年度森林・林業白書」が公表されました。今回の特集は、テーマを「生物多様性を高める林業経営と木材利用」として、初めて生物多様性を取り上げています。詳しくは、林野庁のＨＰをご覧ください。

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

大森山動物園とのコラボイベント

計　画　課

当局では、森林の生物多様性保全にかかる取組の一環として、イヌワシの生息環境保全にも取り組んでいます。このたび、秋田市大森山動物園とイヌワシをテーマにコラボイベントを開催し、森林の生物多様性保全の重要性についてPRを行いました。

国有林野事業においては、生物多様性の保全を図るための施策として、野生生物の保全を目的とした「保護林」や、野生生物の移動経路の確保を目的とした「緑の回廊」という区域を設定し、森林生態系に配慮した管理経営を行っています。

この森林生態系は、大型の猛禽類などの捕食者を生態系ピラミッドの頂点とし、様々な生き物たちが繋がりあって成り立っています。中でもイヌワシは、東北地域の森林生態系の健全性をはかる指標となっており、当局では生物多様性保全の取組のひとつとして、イヌワシの生息環境の保全にも取り組んでいます。代表的な事例として、南三陸地域において、国有林を含めた森林所有者、自然保護団体等の連携により発足した「南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト協議会」に参画し、森林整備等を通じ、自然環境の象徴でもあるイヌワシの生息環境再生の取組も行っています。

そしてこのたび、その森林生態系のピラミッドの頂点に君臨する「イヌワシ」をテーマにして、秋田市大森山動物園と６月１日（日）にコラボイベントを開催しました。

当日は晴天の下、小松名誉園長より「イヌワシの生態や飼育下での保全の取組について」の講話に引き続き、当局の岡崎生態系保全主任主事より、紙芝居形式で「イヌワシが生息する森林について」の講話を行いました。これらの講話の後には「イヌワシと森のモリモリクイズ」と題したクイズ大会を開き、親子連れをはじめとした多くの来園者の皆さまにご参加いただきました。動物園と当局とで交互にクイズを出題し、「イヌワシ」や「森林」等に関する内容に触れながら、参加者の皆さまに楽しんでいただきました。

また、園内の屋内施設においては、６月末まで動物園と当局の共同制作の手作りパネルである「森林の生き物たちの暮らしをのぞいてみよう」をはじめ、森林の働きを解説したパネル展示も実施しました。今回のイベントは、来園される皆さまに森林の生き物を通して、森林の働きを知っていいただける貴重なPRの場となりました。



紙芝居による講話（森のステージにて）



クイズ大会にて入賞者決定の瞬間


パネル展示の様子

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

森林整備推進協定でつなぐ持続可能な森づくり

国有林野事業では、「路網整備の遅れ」「所有が小規模で施業効率が悪い」「木材供給が不安定」など、森林整備の推進に当たって森林所有者が抱える共通の課題を解消する一手段として、森林整備推進協定の取組を進めています。

この取組において、都道府県、市町村、民有林の森林所有者等と森林管理署（支署を含む）が森林整備推進協定を締結し、協定者間で一体的な森林整備の推進が期待できるエリアを団地化することで、「連携した路網整備」「効率的な森林施業」「安定した木材供給」などの効果が期待されます。

令和６年３月31日時点で、全国に167団地あり、うち36団地が東北局管内に設定されています。連携による事業の効率化はもちろんのこと、森林経営管理制度、生物多様性など近年の森林・林業を取り巻く課題に対応し、各地域で様々な取組が展開されています。

これらの事例を紹介した「森林整備推進協定・森林共同施業団地事例集」を東北森林管理局ホームページで公表しています。掲載されている事例は一例となりますが、森林整備に係る課題解決の糸口として、ぜひこの事例集を参考にしていただければと思います。





←森林整備推進協定・森林共同施業団地事例集

森林整備推進協定位置図（31協定 36団地）→

ご関心のある方は、東北森林管理局技術普及課（TEL：018-836-2053）へお問合せ下さい。

接合にて大板化を実現する凹凸CLTの開発

近年、大型木造建築物にも使える建材としてCLT（直交集成板）が注目されています。この材料はオーストリアで開発された比較的新しい木質材料で、集成材と同様に挽き板（ラミナ）を原料とし、それを幅方向に並べて「面」を形成するとともに、厚さ方向に隣接する「面」を直行交差させながら積層接着した、合板に類似した構造をもつ大型材料です。

秋田県立大学木材高度加工研究所では、この構造を利用し、ラミナを「ずらす」という極めて単純な方法で端部に凹凸形状の接合部を形成した「凹凸CLT」を開発しています。木理方向のたて継ぎが可能なほか、端部の形状や配置の工夫により、無接合のものと同等の曲げ性能を得られます。

この技術を用いれば、小部材を使用現場で接合して大型部材化でき運搬や施工時の負担が軽減されることや、接合部や端部を別部材化することにより防腐などの薬剤処理を局所的に施せるなど、CLTが抱える諸課題を解決できる可能性があります。今後、端部形状の規格化などを実現できれば、小規模・分散型の生産・供給体制を許容できる日本発の独自技術になるかもしれません。今後さらに技術開発を進め、CLTの需要拡大やそれを支える国産森林資源の需要拡大に寄与できればと考えています。



凹凸CLTとその接合様態

ご関心のある方は、秋田県立大学木材高度加工研究所（TEL：0185-52-6900）へお問合せ下さい。

地域発NEWS

（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を進めています。

地すべり対策及び流域流木対策の推進へ

置賜森林管理署

山形

当署では、治山事業による森林の維持・造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を守るとともに、公益的機能の維持・増進を図りながら地域の安全・安心を確保するため、谷止工や地すべり対策工等を講じてきています。

特に、当署管内の米沢市屋ヶ沢地区には活動範囲約100haの大規模地すべり区域が存在しており、地下水排除工（強制排水工・集水井工・排水トンネル工）を主体とした対策を実施してきました。

現在は小康状態を保っており、今後も継続して地表面の沈下や降起などを自動で計測するシステム等を活用し、地すべり区域全体における地盤の安定性を観測して参ります。

また、令和4年8月豪雨では、小国町を流れる荒川上流域において土砂崩落が発生し、河道（河川の水が流れ下る部分）内に不安定な土砂や流木が大量に堆積するなどの被害が発生しました。これを受け当署では、国土交通省と連携を図りながら、県や町との調整も進めつつ、砂防事業と治山事業が一体となって流木発生の抑制や流木の捕捉等に係る中長期的な整備計画の策定に向けた検討を開始しております。



適正な森林管理により流木発生抑制

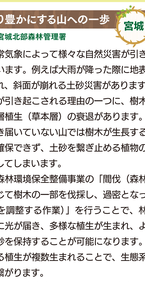
豪雨災害への早期復旧に向けた対応

米代東部森林管理署上小阿仁支署

秋田

近年、梅雨前線の停滞や線状降水帯による記録的な雨量、短時間の局地的な大雨等により、山地災害が頻発化し道路や林道が被災して通行できなくなる状況が多くなっています。

このため、保安林機能の維持・向上を主とした森林整備や木材の安定供給等の国有林野事業への影響も大きいものとなっており、当支署管内においては、令和５・６年度と続けて大きな被害を受けました。被災後は、事業計画等の見直しや地元との調整等を行い、被災した林道の早期復旧に向けて各種調査・工事を進めています。



令和６年度被災状況（堀内林道）

国有林林道は、国有林野事業以外にも地元・地域の山林や農山道等に繋がる道路として幅広い役割を担っています。近年の多発化傾向にある豪雨災害に対し、被害の防止・軽減するための設計や計画の検討を進め、引き続き被災した林道の早期復旧に向け取り組んでいきます。



災害復旧工事完成（芦沢林道）

地域発NEWS

（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

生活を守り豊かにする山への一歩

宮城北部森林管理署

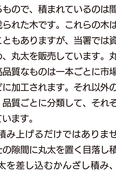
宮城

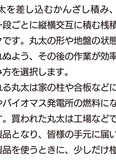
近年、異常気象によって様々な自然災害が引き起こされています。例えば大雨が降った際に地表面が浸食され、斜面が崩れる土砂災害があります。

土砂災害が引き起こされる理由の一つに、樹木の生長と下層植生（草本層）の衰退があります。手入れが行き届いていない山では樹木が生長するスペースが確保できず、土砂を繋ぎ止める植物の働きが低下してしまいます。

一方で、森林環境保全整備事業の「間伐（森林の成長に応じて樹木の一部を伐採し、適密となった林内密度を調整する作業）」を行うことで、林床（地表）に光が届き、多様な植生が生まれ、より強固に土砂を保持することが可能になります。また、異なる植生が複数生まれることで、生態系の保全にも繋がります。

「木を伐る＝環境破壊」というイメージがあるかもしれません。しかし、適切な「間伐」は、防災と生態系の保全に役立つほか、木材利用による炭素の固定化や燃料としての循環利用を通じて、地球温暖化防止等にも寄与しています。人々を守り豊かにする環境づくりのため、今後とも森林管理署の森林環境保全整備事業にご理解とご協力をよろしくお願い致します。





（上）暗く林床の植生が少ない山
（下）間伐によって林床が明るい山

森林は暮らしと密接な関係にあります

津軽森林管理署

青森

山に行くと、写真のように道の脇に丸太が積んであるのを見たことはないでしょうか。これは椪（はい）と呼ばれるもので、積まれているのは間伐などで森林整備で伐られた木です。これらの木は林内に放置されることもありますが、当署では資源の有効活用のため、丸太を販売しています。丸太を販売する際、商品質なものは一本ごとに市場へ出品し、家具などに加工されます。それ以外のものは樹種や太さ、品質ごとに分類して、それぞれ椪単位で販売しています。

椪はただ丸太を積み上げるだけではありません。下段の丸太同士の隙間に丸太を置く目落し積み、直角方向に丸太を差し込むかんざし積み、ジェンガのように一段ごとに縦横交互に積む桟積みなど積み方は様々です。丸太の形や地盤の状態などを考慮し、崩れぬよう、その後の作業が効率的になるような積み方を選択します。

椪単位で販売される丸太は家の柱や合板などになるものから、紙やバイオマス発電所の燃料になるものまで様々です。買われた丸太は工場などでの加工を経て最終製品となり、皆様の手元に届いています。紙や木製品を使うときに、少しだけ椪に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



椪積みにも技術が必要！（ぇぇ～ノ

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

世界遺産登録10周年　橋野鉄鉱山

岩手

三陸中部森林管理署

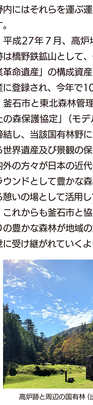
岩手県釜石市は近代製鉄発祥の地であり、それを物語る産業遺産として現存最古の洋式高炉である国史跡橋野高炉跡が釜石市橋野町青ノ木に所在しています。

南側に広がる国有林野と釜石鉱山所有の採掘場跡は、かつて高炉の燃料及び還元剤となる木炭や製鉄の原料となる鉄鉱石の産地であり、国有林野にはそれらを運ぶ運搬路遺構も存在しています。

平成27年７月、高炉場跡、採掘場跡、運搬路跡は橋野鉄鉱山として、一体的に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として、ユネスコ世界遺産に登録され、今年で10周年を迎えました。

釜石市と東北森林管理局では、「橋野鉄鉱山郷土の森保護協定」（モデルプロジェクトの森）を締結し、当該国有林野について初期近代化を物語る世界遺産及び景観の保全を最優先としつつ、市内外の方々が日本の近代化の歴史やそのバックグラウンドとして豊かな森林に触れながら学習できる憩いの場として活用してきました。

これからも釜石市と協力して、橋野鉄鉱山と周りの豊かな森林が地域の宝、世界の宝として、後世に受け継がれていくように努めて参ります。



高炉跡と周辺の国有林（出典：釜石市ウェブサイト）

指定から半世紀！真木真昼県立自然公園

秋田

秋田森林管理署

当署管内の大仙市と美郷町の南東部に広がる国有林は、奥羽山脈の一部と真昼山地に位置し、その大部分が真木真昼県立自然公園に指定されています。標高1,000～1,200mの高峰がそびえ立ち、V字の深い渓谷が刻まれ、探勝と登山に適した山岳公園です。

連なる山頂からは北に田沢湖や秋田駒ヶ岳を、眼下には仙北平野を見渡すことができます。また、ニッコウキスゲを始めとする秋田県有数の高山植物の群落やブナの原生林が見られ、カモシカなどの野生動物も生息するなど、原始の自然が色濃く残るエリアです。

今年は、昭和50年１月11日に県立自然公園として指定されてから50年目という節目の年です。大仙市、美郷町と地域の関係機関で組織する「真木真昼県立自然公園を美しくする会」が“記念フォトコンテスト”や“記念登山”を実施していますので、気軽に参加してみませんか。

このかけがえのない美しい自然環境を未来へ引き継いでいくため、当署職員は貴重な生態系の保全を念頭に置きつつ地域の方々と連携し、日頃の巡視活動と国有林野の管理経営に取り組んでいきます。



ニッコウキスゲと仙北平野（提供：大仙市）

地域発NEWS

（ふれあい・管理・経営等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

地域の森林生態系を学ぶ森林教室

岩手

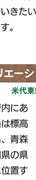
岩手北部森林管理署

当署では、毎年管内の小学校４校から要請を受けて森林教室を実施しています。今年度は６月５日に安代小学校５年生を対象に「岩手山青少年交流の家」で森林教室を実施しました。

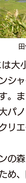
今回は、岩手県北の内陸に位置する安代地域では身近な樹木である、ブナ・ミズナラの森をテーマとしました。講義では、当地域の周辺に広がっているブナ・ミズナラの森は、日本の冷温帯を代表する植生であり、寒冷な東北地方を特徴付ける森であることを知ってもらいました。また、地域の生物多様性や森林生態系を実感してもらうために、周辺の国有林内で見つけたカブトムシの巨大な幼虫を持っていたところ、とても興味津々で観察してもらえました。野外の広場では、ドングリから発生した実生を観察し、これがやがて大きくなって地域の森になっていくということを学習してもらいました。



ブナ、ミズナラの講義



森の生き物を観察



ドングリからの実生を観察

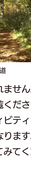
子供たちには、地域の木や森のことをよく知ってもらいながら、自然と親しくなったと実感できる森林教室にしていきたいと思います。

レクリエーションの森　田代岳

秋田

米代東部森林管理署

当署管内にある田代岳は標高1,178m、青森県と秋田県の県境近くに位置する休火山で、白神山地に属しています。９合目近くの高層湿原には大小120以上の池塘が散在し、夏にはハクサンシャクナゲやミツガシワなどの花畑が見られます。また、山頂からは秋田・青森両県にまたがる大パノラマを堪能でき、その美しい景色から「レクリエーションの森」にも指定されています。



田代岳９合目付近　高層湿原

レクリエーションの森とは、豊かな自然環境を積極的に活用するため、国有林の中から美しい森林や山岳、渓谷、湖沼などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を選定したものです。田代岳以外にも白神山地暗門の滝や仁別国民の森などが選定されています。局管内にはレクリエーションの森が１１６箇所設定されているので、みなさんの身近なところにあるかもしれません。詳しい場所は東北森林管理局ＨＰをご覧ください。登山やキャンプなど野外でのアクティビティを楽しむことでデジタルデトックスにもなります。ぜひ、レクリエーションの森を利用してみてください。



田代岳登山道

「レクリエーションの森」詳細はこちら→

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

岩手県下閉伊郡田野畑村

三陸北部森林管理署

人　口　2,862人（R7.5.1現在）
面　積　156.2㎢
市町村の木　キリ　　市町村の花　シロバナシャクナゲ

岩手県の沿岸北部に位置し、村の沿岸部は「三陸復興国立公園」に指定されています。断崖から太平洋が望める、自然豊かで風光明媚な村です。

田野畑村は、「北山崎」を代表とする美しい海岸線が魅力の小さな村です。高さ200ｍの断崖から望む絶景は「海のアルプス」とも呼ばれ、四季折々の風情ある景色を楽しむことができます。



北山崎展望台からの眺望

田野畑村の海を存分に楽しむなら、地元漁師の漁船に乗船できる「サッパ船アドベンチャーズ」がおすすめです。岩穴をくぐり抜け、断崖を真下から仰ぎ見る迫力満点のクルーズです。漁師とのふれあいもとっておきの思い出になります。



漁船で行く「サッパ船アドベンチャーズ」

村の沿岸部は「みちのく潮風トレイル」のコースとなっており、浜辺を歩きながらダイナミックな断崖や白亜紀の地層を眺めることができます。また、ヘッドライトを灯しながら歩く「手彫りトンネル」では、真っ暗なトンネルの中から波音が響きわたり、自然の壮大さを体感することができます。

漁村の原風景のたたずまいを残した「机浜番屋群」では、漁業の歴史・文化を学べるほか、海水をじっくり煮込む昔ながらの製法で「塩づくり体験」をすることができます。



昔ながらの漁業の拠点「机浜番屋群」

三陸沿岸道路「田野畑中央IC」からほど近い「道の駅たのはた」では、田野畑牛乳のソフトクリームや、村の特産品であるワカメ・鴨・しいたけのフランクが味わえます。

海と大地のワンダーランド、田野畑村。ぜひお越しください。



道の駅たのはたの
「たのはた生乳ソフト」

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
田野畑村産業振興課　Tel. 0194-34-2111

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形県東田川郡庄内町

庄内森林管理署

人　口	18,952人（R7.4.30現在）
面　積	249.17㎢
市の木	ツバキ
市町村の花	クロユリ

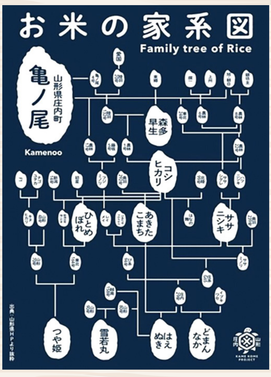
庄内町は、山形県の北西部にあり、米どころ庄内平野の南東部から中央にかけて位置しています。霊峰月山の頂を有し、月山を源とする清流立谷沢川と日本三大急流の一つ最上川に沿う、南北に長い地形です。

庄内町は北に鳥海山、南に霊峰月山を望み庄内平野が広がる自然豊かな街です。



月山と平成の名水百選・立谷沢川

月山山麓は雪解け水が大地を潤し、古来より米作りが盛んで、つや姫やコシヒカリを筆頭とした日本の美味しい米のルーツである「亀ノ尾」の発祥の地でもあります。



「亀ノ尾」の家系図

月山を水源とする立谷沢川の清流で育った庄内町産のお米は、グルメ漫画「美味しんぼ」第1巻で取り上げられ、舌の肥えた京都の豪商、京極氏が大絶賛するシーンがあります。興味のある方は食してみてください。



炊き立てのお米

庄内町では「山形庄内かめこめプロジェクト」として庄内米にこだわったものづくりを行っており、冬には「米のふる里　新酒まつり」を開催し、秋には18回を数える「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」が開催されています。

コンテストでは審査員も募集しており、自宅に居ながら審査員として参加も可能です。応募多数の場合は抽選となりますが、ぜひ参加してみてください。



新酒まつり

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
庄内町商工観光課　Tel. 0234-42-2909

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

木とともに未来を育てる

山形

山形県国有林造林生産請負業連絡協議会
北村山森林組合　大類　皐太さん

当組合は、山形県北東部の尾花沢市に位置し、村山市・尾花沢市・大石田町の２市１町で山林の整備・管理を行っています。森林組合は地域に根差した組織です。地元の人たちと協力して森を守り育て、木材をつくる林業はもちろん、木を活かした様々な活動をしています。例えば地元の中学生と一緒に山に植林する体験学習なども行っています。自分たちの仕事が地域に貢献していることを実感できるのは、大きなやりがいです。

私は山形県農林大学校で林業を学び、当組合のインターンシップを経て昨年入社しました。私の業務内容は森林の測量や写真管理、作業員との打ち合わせ等の現場管理がメインです。実際に自ら伐倒や刈払も行うので、学校で学んだ技術や資格を生かす機会も多いです。また、自分でチェーンソー等の機械修理も出来るようになってきており、日々成長を実感しています。

最近はドローンで森林の状況を確認したり、GPSで位置情報を把握しながら作業を進めたりと、最新技術を駆使する場面も増えています。皆さんが普段使っているスマートフォンも、山においてはGPSやカメラとして大いに活躍しています。

地球温暖化が深刻化する中、森林の役割はますます重要になっています。林業は、ただ木を伐採するだけでなく、持続可能な森林経営を通して、未来の地球環境を守っていく仕事です。大自然の中で体を動かし地域貢献できる、健康的で刺激的な仕事をしてみたいと思いませんか？



GPSで森を測量している様子

森林や木材の魅力を伝えます！

青森

三八上北森林管理署
主事　坂本　菜々さん

三八上北森林管理署は青森県の南東部に位置しており、十和田湖、奥入瀬渓流など豊かな自然に恵まれています。

私は業務グループの経営・ふれあい担当として国有林の木の販売、森林環境教育等に携わっています。経営業務において、山に生育している木を販売するには、現地のことをよく理解していなければいけません。どのように木を伐採し搬出するのか等について現地を踏査して検討し、林業会社等の方々を対象に現地案内を実施して販売しています。

ふれあい業務では、小学生等への森林環境教育や、企業団体等の植樹活動への協力などを行っています。森林の働きや、木を伐って利用しまた新たに植えていくことの重要性を、時にはカードゲームなども使いながら次世代を担う子供達などに伝えています。子ども達の楽しそうな姿や、森林や林業に関して興味を持ってくれた様子を見ると、とてもやりがいを感じます。

私達の仕事は自然の中で働き、森林づくりに携われることが大きな魅力の一つです。近年では森林に触れる機会が少ない方も多いと思いますが、そういう方々にも森林の大切さや木材の魅力などについてわかりやすく伝えていきたいです。



小学生に森林の役割を解説

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

7/21(月) 久渡寺山探検隊

久渡寺山を探検して生物観察、カレー作り体験（要申込、参加費1,500円）

主催 弘前市こどもの森

7/17(木) 夕陽海岸ふかうら 海開き安全祈願祭

風光明媚な夕陽海岸ふかうらで海開き

主催 深浦町

7/20(日) 夏山登山 ライオン岩ルート

夏のお山を登り、ライオン岩へハイキング

主催 弘前市こどもの森

秋田県

7/12(土)～13(日) 毛馬内月山神社祭典

川原大神楽の奉納・披露に合わせて子供みこしの運行が行われる

主催 秋田県/鹿角市

7/19(土) コウモリ観察会

コウモリのお話と、夜の森での観察会 コウモリの音を聞こう！

主催 NPO法人冒険の鍵クーン

7/26(土) 森と木の生活塾「2025」

アルプスホルン、森の音楽、木工体験、紙芝居、ロープワーク、林業機械展示デモ

主催 秋田県森林学習交流館・プラザクリプトン

8/2(土)～3(日) 小坂七夕祭

武者人形やアイデアに富んだ山車が展示されます。

主催 秋田県・小坂町

岩手県

7/5(土)～13(日) ホタル観賞

豊富な湧水によって育まれた100万匹のホタルによる幻想的な森の姿をぜひご覧ください（要申込）

主催 折爪岳振興協議会

8/3(日) 八幡平クマ巡視員と歩くツキノワグマ痕跡観察ツアー

ツキノワグマの巡視員と一緒に歩いて痕跡探しや自動撮影カメラによる調査を体験しよう！（要申込、参加費500円～）

主催 八幡平ビジターセンター

宮城県

7/18(金) 森と遊ぼう！

県民の森おさんぽ、入門編　初めて森を歩く方に最適です！（要申込、参加費300円）

主催 宮城県 県民の森

8/10(日) 昆虫と出会おう

こもれびの森で昆虫を中心にたくさんの生き物にであおう（要申込、参加費500円）

主催 宮城県こもれびの森森林科学館

山形県

7/19(土) 夏休みわくわく冒険塾

まるっと一日冒険体験。冒険の森を遊びつくします（要申込、小人500円）

主催 源流の森センター

7/26(土) 白川ダムSNOWえっぐフェスティバル

灼熱の太陽が降り注ぐ中、夏まで保存した雪で様々な雪遊びを

主催 SNOWえっぐフェスティバル実行委員会

7/26(土) 子ども樹木博士に挑戦！

山形県森林インストラクター会コラボ企画（要申込、参加費500円）

主催 山形県 県民の森

8/2(土) ながい水まつり 最上川花火大会

最上川発祥の地である水のまち長井市で水と触れ合うひとときを

主催 長井市観光協会

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

新任者略歴紹介

令和7年7月1日付け

東北森林管理局長



箕輪（みのわ） 富男（とみお）

（出身県：埼玉県）

令和２年１月　林野庁森林整備部森林利用課長
４年４月　林野庁森林整備部治山課長
５年４月　国立研究開発法人森林研究・整備機構理事
７年４月　林野庁国有林野部付

退任者挨拶

令和7年7月1日付け

前 東北森林管理局長
大政 康史

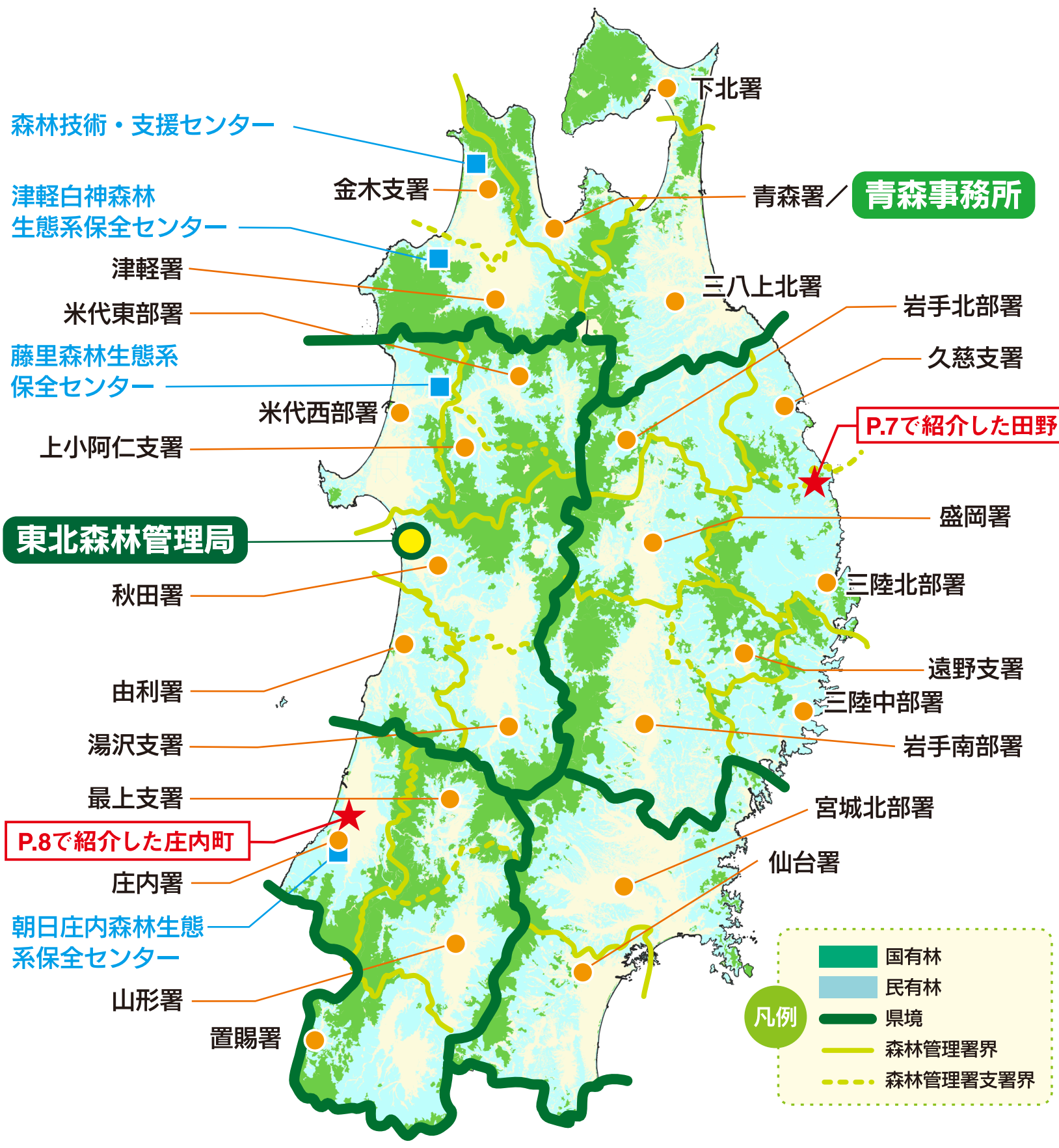


７月１日付けで東北局を去ることとなりました。自身の現場経験の原点である東北局に役人生活最後の場面で再度勤務出来ましたことと、感謝の念に堪えません。

１年半ではありましたが、少雪と多雪の冬、局地的な集中豪雨等、地球温暖化の影響とも思われる出来事を体感することが出来ました。訪ねられなかった地域もありますが、今後も各地域において、地元に喜ばれる持続的な国有林経営が行われていくものと確信しております。急な異動とより関係各方面に須らくご挨拶に伺えませんでしたこと、紙面を借りしてお詫び申し上げます。本当にどうも有難うございました。

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓

東北森林管理局マップ



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.256

●発行日／令和７年７月

●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

表紙写真

800～1000年以前、飛砂によって埋没したヒバの一部が姿を現した幻想的な風景。周囲を覆うクロマツ林とともに静まりかえった姿が不思議な世界を創り出しています。